



1962年に自動車を都心部から排除したコペンハーゲンは、多くのフォロワーを生むことになる（ストロイエ）。



1972年に自動車を都心の目貫通りであった11月15日通りから排除したクリチバ。反対も多かったが結果的には大成功。



デュッセルドルフでは、ライン川沿いに走っていた幹線道路を地下に通し、上部空間はプロムナードにした



アメリカの都市でも、バーリントンのように中心道路から自動車を排除して、歩行者へ開放したところがあります。



ボルダーでは中心道路を公園のようにしてしまいました。もはや、ここは道路が通れません。管理は市役所の公園課が行っています。



極めつけはニューヨークのブロードウェイの歩行者への開放事業でしょう。この事業のコンサルタントは、ストロイエ研究の第一人者のヤン・ゲール氏です。ストロイエのDNAは、世界中の都市が継承していますが、唯一、蚊帳の外にあるのが日本の都市です。下北沢に道路は世界の笑いものです。